

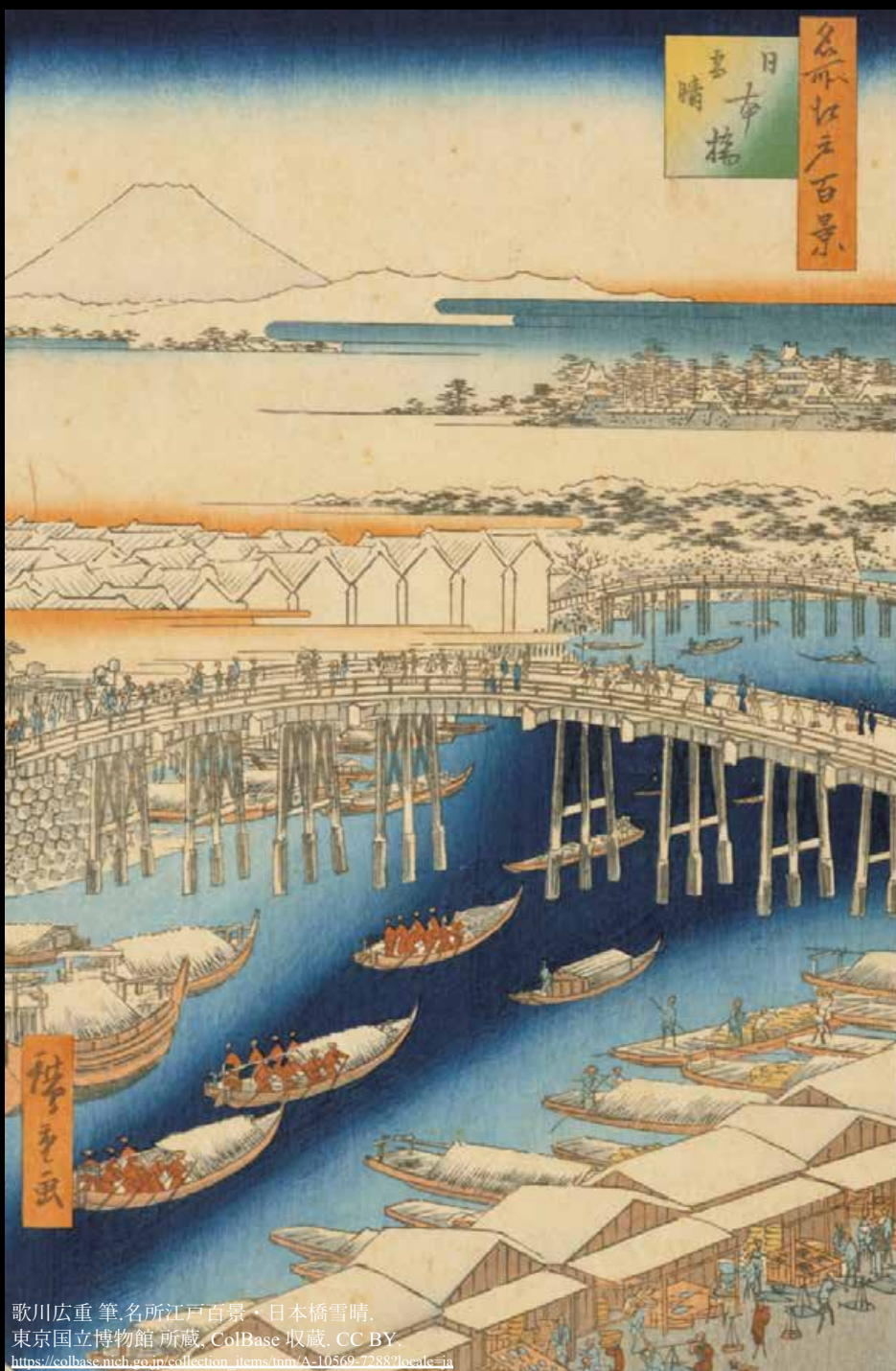
日本を見つめる「日本橋」

東海道
五拾三次
之内

日本橋



歌川広重



ここはどこだろう？

何が描かれているだろう？



どのような人々が
何をしている場面だろうか？

廣重画

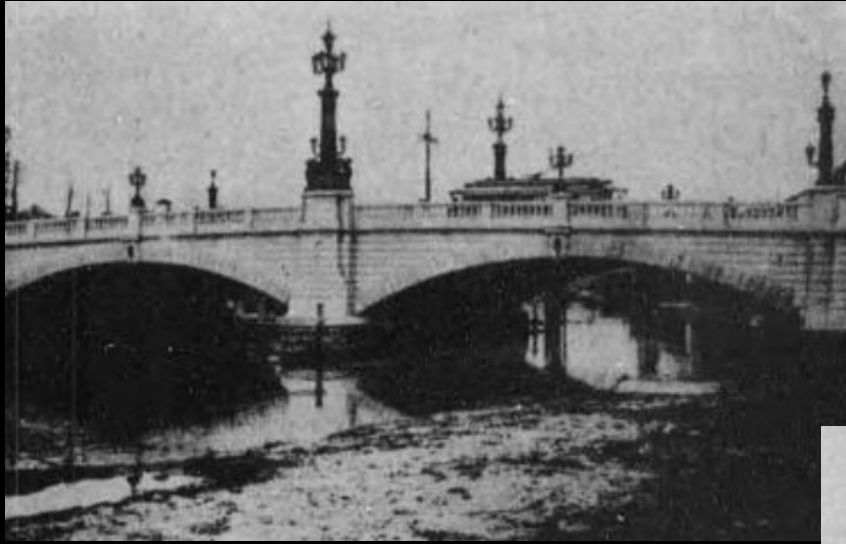


東都名所
日本橋
魚市

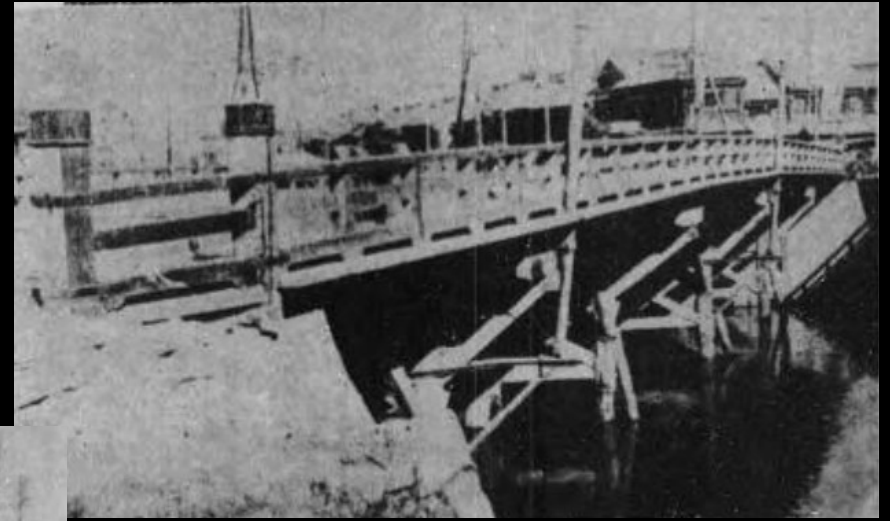




町の様子や
人の様子はどうだろう？



明治・大正期の
日本橋と比較する
とどうだろう？



日 本 橋 区 の 大 観



(一 共) (三 越 樓 上 方 南 望 望 望)

備考

今回私が「日本橋」に注目した理由としては、江戸時代から今現在に至るまで、その形を変化させつつも存続している点に加えて、浮世絵などの芸術作品における描画対象とされてきた点が非常に大きい。生徒たちにとって一番馴染み深い時代であろう「今現在」と、何百年も離れた「過去」の日本橋の姿、周辺のまちの姿を比較検討が可能である点は、歴史の移り変わりと繋がりを同時に感じることができることから、これは良い教材になり得ると思う。更に、日本橋以外の現在と過去の比較が可能な建造物や町並み、モノについての案を、生徒たちに「問い」として投げかけることによって、彼らの知的好奇心を刺激しつつも「新たな問い」の展開が可能なのではないだろうか。